

最近の200年間のメキシコでは



75

の大規模な地震と、それによる大被害が起きました。そのうちで、

60

マグニチュード7以上のものは60回です。

建築基準法の厳格な適用こそが、人命や建築物の被害の可能性を低減します。

皆さん、

www.gob.mx/proteccion-civil

www.gob.mx/cenapred

www.ssn.unam.mx

参考文献 メキシコ国立防災センター

地震が静まってから、



家の状況を確認してください。



ガス漏れがないことを確認するまで、決してマッチやろうそくは点灯しないでください。



緊急事態のためだけ電話を使用してください。



正しい状況を知ることが大切です。無責任に噂を広げたりせず、当局の勧告にきちんと従ってください。



また、余震の可能性を忘れないで、それに備えておくことが重要です。

地震が起きたら、



窓や落下物から離れて、



落ち着いて安全な場所で待機し、



ガスと電気の元を切ってください。



電信柱やケーブルや庇を避ける、



超高層建物の近くに駐車しない、などの考慮も必要です。

地震の前に準備してください



家庭の防災計画を立ててください。



防災訓練に参加し、



災害時の避難ゾーンを認知しておき



ガスと電気の設備の確認



緊急用食料と水の準備をしておきましょう。

SEGOB

SECRETARÍA DE GOBERNACIÓN



SISTEMA NACIONAL DE
PROTECCIÓN CIVIL
MÉXICO